

病害虫があるので注意してください。

▼詳細はこちら

・都道府県の発表する病害虫発生予察情報と併せてご利用ください。

○「令和6年度 病害虫発生予報第1号」の発表について（令和6年4月17日付け農林水産省プレスリリース）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/240417.html>

○これまでの病害虫発生予報

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課

（担当：岡田、城野、河合）（03-3502-3382）

++・…… 施策情報 ……・++

◆「みどり戦略学生チャレンジ（全国版）」を開催します！

【大臣官房みどりの食料システム戦略グループ】

農林水産省では、高校生や大学生等を対象に、「第1回みどり戦略学生チャレンジ（全国版）」を開催します。

本大会では、学生の皆様にみどりの食料システム戦略に基づく取組の成果をポスターにまとめていただきます。化学肥料・化学農薬を減らす生産段階の取組をはじめ、食品ロスを減らすための啓発活動などの流通・消費段階の取組も含めて、みどりの食料システム戦略に基づく取組であれば広く対象となります。最も優れた取組には農林水産大臣賞が授与されます。参加登録は5月31日（金）までです。

普及指導員の皆様におかれましては、説明会やイベント等の機会に周知をお願いします。

▼詳細はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/challenge.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房みどりの食料システム戦略グループ

（担当：鷹觜、大依、船山、横山）（03-3502-8056）

◆農林漁業バイオ燃料法に基づく支援措置について

【大臣官房 環境バイオマス政策課 バイオG】

農林水産省では、農林漁業バイオ燃料法により、農林漁業者とバイオ燃料製造業者の連携によるバイオ燃料製造や、バイオ燃料の原材料生産等の研究・開発に対する支援を通じた、バイオマス資源のバイオ燃料の原料利用を促進しています。例えば、農林漁業者等とバイオ燃料製造業者が連携してバイオ燃料製造に取

り組む生産製造連携事業計画の認定を受けた場合、固定資産税の課税標準額が3年間減免されるなど、様々な支援措置があります。

普及指導員の皆様におかれましては、本認定制度について現場への案内等のご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

○農林漁業バイオ燃料法関連情報

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/bio/nenryoho/>

○農林漁業バイオ燃料法パンフレット

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/bio/nenryoho/attach/pdf/index-14.pdf>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 環境バイオマス政策課（担当：原口、中水流）

（03-6738-6479）

=====

◆不稔米を発生させるイネカメムシの被害にご注意ください。

【消費・安全局 植物防疫課】

=====

斑点米カメムシ類の一種であるイネカメムシは、斑点米を発生させるほか、不稔米を発生させる害虫で、近年、発生量が増加傾向にあります。

イネカメムシは、他の主要な斑点米カメムシ類と異なり、穂揃い期以降ではなく、出穂期に防除することが重要であり、発生量が多く、適期の防除が実施されていない場合は、減収となる可能性があります（特に中生以降の飼料用米など）。

普及指導員の皆様におかれましては、病虫害防除所と連携し、地域でのイネカメムシの発生量を注視し、防除が適時・適切に実施されるようご指導をお願いします。

▼詳細はこちら

○イネカメムシの防除について

https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/suitou_bouzyo/index.html

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課（担当：岡田、城野）

（03-3502-3382）

=====

◆環境保全型農業のPRチラシを作成しました

【農産局 農業環境対策課】

=====

環境保全型農業直接支払交付金では、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い農業生産活動の取組を支援しています。この度、「有機農業」や「堆肥の施用」といった、本交付金が支援する取組による環境保全の効果を解説したチラシを作成しました。

普及指導員の皆様におかれましては、環境保全型農業をご指導いただく際に、ぜひご活用ください。

▼詳細はこちら

○実需者・消費者向けチラシ（A4 両面 PDF:615KB）

https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/kakyou_chokubarai/pdf/shouhi.pdf

○農業者・行政担当者向けチラシ（A4 両面 PDF:559KB）

https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/kakyou_chokubarai/pdf/nougvousha.pdf

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 農業環境対策課（担当：廣瀬、清田）

（０３－６７４４－０４９９）

◆飼料も含めた地域計画を策定しませんか！？

【畜産局 飼料課】

地域計画とは、農業者や地域の皆さんが話し合って作る、将来の農地利用の姿を示した地域農業の設計図です。

飼料作物は、食用作物に比べて省力的な農地の維持・活用ができ、輪作に組み込むことで連作障害の回避になる等のメリットがあります。一方で、家畜の栄養や嗜好性に応じた飼料を安定的に供給することが重要であり、畜産農家の意見を聞きながら生産を進める必要があります。

地域計画の話し合いでは、畜産農家や飼料生産組織も参加し、地域でどのような飼料作物が必要とされているか、空いた土地を飼料生産に活用できないか、輪作体系に組み込めないか等を話し合っていただければと考えています。

普及指導員の皆様におかれましては、地域計画の話し合いにおいて、飼料生産についても積極的にトピックとして、畜産農家や飼料生産者の参加を促していただけるようご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

https://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/shiryo/chiiki_keikaku/portal.html

※お問い合わせ先

農林水産省 畜産局 飼料課（０３－６７４４－２３９９）

◆農地の貸し借り（売買）は原則として農地バンク経由になります！

【経営局 農地政策課】

令和７年４月以降、地域計画（目標地図）の実現に向けて、農地の貸し借り（売買）は原則として農地バンクを経由した方法に一本化することとなりました。

今後は農地バンクを経由することで、受け手が離農した場合でも、農地バンクが農地を一時的に中間保有し、目標地図を踏まえた次の受け手の掘り起こし等を行うことで、円滑に次の受け手へ農地の再配分を行います。また、農地バンクにまとめて農地を貸付けた場合には、各種メリットもあります。

普及指導員の皆様におかれましては、現場を訪問される機会等に、ご紹介をお願いします。

▼詳細はこちら（農林水産省 HP「農地中間管理機構」）

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/kikou/nouchibank.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 経営局 農地政策課（担当：集積企画グループ）

（03-6744-2151）

=====

◆働きやすい労働環境づくりのための「労働力確保体制強化事業」（公募開始）
【経営局 就農・女性課】

=====

魅力ある労働環境づくりに取り組む皆さんを応援する「労働力確保体制強化事業」について、公募を開始しました。

【募集期間】令和6年3月29日（金）～同年5月10日（金）12時必着

【支援額】1協議会※あたり2,000万円（定額）

または就労条件改善に取り組む農業経営体数×100万円のいずれか低い方が上限

※農業経営体3経営体以上と関係機関1者以上で構成

普及員の皆様におかれましては、農業者の皆様への周知にご協力をお願いします。

▼詳細はこちら（事業実施主体：㈱マイファーム HP）

<https://myfarm.co.jp/roudouryoku/>

※お問い合わせ先

農林水産省 就農・女性課（雇用グループ）（03-6744-2162）

=====

◆農林水産省が実施した研究の成果を動画でご紹介します！

【農林水産技術会議事務局 研究企画課】

=====

農林水産省では、みどりの食料システム戦略の実現に向けた課題や、農林水産業者等のニーズを踏まえた課題の解決に向けた研究開発（委託プロジェクト研究）を進めています。

令和4年度に終了した研究課題について、研究成果を紹介する動画を作成しましたので、普及指導員の皆様におかれましても、現場への課題解決にご活用ください。

（掲載動画一覧）

- ・画像センシングによる露地生育診断技術
- ・サラダハウレンソウ廃棄ロスの削減
- ・かんしょ省力機械移植栽培体系の確立
- ・病害虫に強い新品種「かなえまる」と茶葉の低温保管システム
- ・悪臭モニタリング技術と畜舎・ふん尿処理施設における臭気対策技術

- ・種苗開発を支える「スマート育種システム」の開発
- ・天然資源に依存しないクロマグロ養殖技術

▼詳細はこちら

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/project/douga/2022/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課（担当：企画班）
（０３－３５０１－４６０９）

=====

◆〈みどり戦略技術紹介〉露地ショウガの根茎腐敗病多発ほ場における低濃度エタノール等を利用した低環境負荷土壌消毒技術

【大臣官房政策課 技術政策室】

=====

本技術紹介では、みどりの食料システム戦略に貢献する技術を、「みどりの食料システム戦略」技術カタログから毎月一回ご紹介します。今回ご紹介するのは、低濃度エタノール等を利用した低環境負荷土壌消毒技術です。

露地ショウガは、土壌伝染性病害である根茎腐敗病の発生により、しばしば甚大な被害が生じます。そこで、休耕中の夏期に低濃度エタノールを利用した土壌還元消毒法または石灰窒素を用いた太陽熱消毒を行う技術を開発しました。本技術を用いることで、慣行の土壌消毒と比較して次作の発病株率の減少及びクロルピクリン等の化学農薬の使用量削減が期待されます。

普及指導員の皆様におかれましては、本技術をはじめ、カタログに掲載されている技術の活用をご検討いただき、生産現場で広く活用されるようご指導及びご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

○「みどりの食料システム戦略」技術カタログ(分割版：露地野菜) P. 2

露地ショウガの根茎腐敗病多発ほ場における低濃度エタノール等を利用した低環境負荷処理技術の確立

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/attach/pdf/midori_catalog_vege.pdf#page=2

○「みどりの食料システム戦略」技術カタログ

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 政策課 技術政策室（担当：小花和、高橋）
（０３－６７４４－０４０８）

=====

◆令和６年度熱中症対策研修 熱中症及び作業環境対策コースをオンライン開催します！

【農林水産研修所つくば館】

=====

この度、農作業中の熱中症の予防対策をテーマに、オンライン研修を実施しま

す。いずれも定員 100 名、同じ内容を予定しています。受講希望の方は、受講申請書に必要事項を記載の上、電子メール又は郵送により申込みをお願いします。

普及指導員の皆様におかれましては、ご参加及び関係者への周知をよろしくお願い申し上げます。

- ・熱中症及び作業環境対策コース1：6月4日（火）10：50～15：35
- ・熱中症及び作業環境対策コース2：6月28日（金）10：50～15：35

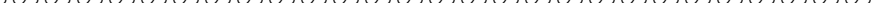
申込期限：コース1は5月28日（火）、コース2は6月21日（金）

▼詳細はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/tukuba/mito/kensyu/06netu.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産研修所つくば館（農業機械研修担当）

$$(0\ 2\ 9 - 8\ 3\ 9 - 9\ 4\ 8\ 1)$$


※メルマガの配信登録はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

※バックナンバーはこちら

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_mailmag/index.html

※PDF形式のファイルの閲覧について

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには農林水産省ホームページ

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

「3 PDFファイルについて」をご覧ください、「Get Adobe Reader」

のボタンで Adobe Reader をダウンロードしてください。